

## 〈平成29年度事業報告〉

### 1. 採卵経営をめぐる情勢

平成29年の鶏卵相場（全農たまご・東京M平均卸売価格）は、1月と6～9月の夏場にキロ200円を下回ったが、暦年（1～12月）は207円となり28年とほぼ同額で推移した。一方、生産コストの最大費目である飼料費は、4四半期期中、2期値上がり（第1、4期）、2期値下がり（第2、3期）となり、全農の全国・全畜種平均ではトン700円値上がりした。本会が年4回定期的に実施している飼料価格実態調査のデータを見ると、飼料購入価格の格差はいぜん大きく、その差はトン当たり1万円以上になる。農場着の配合飼料価格は飼料工場からの輸送距離や購入量によって違ってくるが、規模の小さい経営ほど高くなる傾向にあり、中小経営を守る立場からみても飼料対策が重要となっている。

採卵経営は畜産・農業の中でも一番多く雇用をしており、それだけ地域経済の活性化に貢献しているが、労働力不足と同時に人件費の値上がりも深刻な問題になってきており、その他、環境対策費や衛生・品質管理費などの諸経費も上がり、エサさえ安く仕入れればコストダウンは大丈夫、という時代ではなくなりつつある。

生産者に脅威を与えている高病原性鳥インフルエンザは今年1月12日、香川県さぬき市のブロイラー農場で感染が確認され、約9万羽の法令殺処分が実施された。北海道から九州までの9道県、12農場で発生した前年度に比べるとスケールは小さくなり、1県1農場の発生にとどまったが、四国で初の発生であり、全国どこでも感染しうるといふ、この病気の怖さを再確認させた。

平成29年度は鶏卵生産者の経営安定対策事業の3期目初年度に当たり、部分的な事業内容の変更も行われた。その変更の一つは、事業に参加し、卵価安定基金に加入する生産者が補てん財源として積み立てる金額がそれまでの個別管理からプール管理に切り替えられたことで、それによって加入者Aの積立金が加入者Bの補てんに充当できることも可能になった。また、標準取引価格が安定基準価格を下回ると成鶏更新・空舎延長事業が発動し、その発動中は一定羽数以上の加入者に対する卵価安定基金からの補てんが停止するが、その基準が40万羽以上から10万羽以上に引き下げられ、成鶏更新事業発動中の補てん停止の対象経営は拡大した。なお、卵価基金の補てん停止は安定対策事業の2期目から追加された措置で、

3期目初年度の昨年度までは実施されることはなかったが、今年4月に実現され、対象経営が多くなったこともあって大きな衝撃を与えている。

平成29年、本会は創立50周年を迎え、11月14日(火)に東京田町のJALシティ田町で50周年記念式典とパーティーを開催した。当日、歴代会長やOBならびに会の活動にご協力・ご支援をいただいた関係者等を招待し、出席者総数は100名を超えた。

式典では11代目の現会長である市田真新が挨拶に立ち、「本会の理念である自主自立の活動を続け、困ったときはみんなが助け合うとの伝統も守ってきた」と話した。その後、梅原正一副会長の経過報告や、宮澤哲雄副会長が進行するスライドショーでの活動紹介もあり、本会が全国生産者運動の先頭に立って活動してきたことを改めて報告された。なお、記念式典とパーティーは正副会長全員が担当を受け持ち、自主自立の伝統をそのまま体現しながら50年の活動を振り返る1日になった。また、併せて50年の歩みを記念誌として発行した。

調査活動においては、定期的実施している飼料価格調査、たまごの需給調査に加え、2年ぶりに飼養鶏種とヒナ・親鶏価格調査も実施した。さらに労力不足の中で、人材確保が大きな経営課題になっていることから労務管理に関わるアンケート調査も実施し、43経営から回答が寄せられた。

年4回の飼料セミナーを軸にしたセミナー活動では労務管理セミナーを2回開き、求人方法や給与・休暇の設定などの労働契約、従業員とのコミュニケーションのとり方など、多岐にわたる調査結果も踏まえながら問題点と対策を学んだ。欧米で普及している、いわゆる動物福祉(AW)型の飼育法についても世界的な流れと、会員での実践例などを取り上げるセミナーを開催し、これからの方向について研修した。

その他、セミナーや情報発信活動については以下に紹介したが、特筆すべきは青年部の活動で、座学と現地見学の2つで組み立てる年2回のセミナーには会を重ねるごとに若い会員の参加が増えている。29年度は4月に育雛育成技術の研修会、10月に飼料について学ぶ現地研修会を行ったが、参加者は、セミナー終了後の懇親会で交流・親睦を深め、お互い生産者同士の自由な立場からこれからの養鶏について語り合うことができる時間を共有している。

この他、役員会などの具体的な活動は次の通りである。

## 2. 活動内容

### (1) 総会

#### 1) 第51回通常総会

日 時：平成29年6月8日(木)

場 所：A P 東京八重洲通り

参加者：43名(意見交換会、記念講演、飼料セミナー：47名)

議 事：

第1号議案 平成28年度事業報告に関する件

第2号議案 平成28年度収支決算および監査報告に関する件

第3号議案 平成29年度事業計画に関する件

第4号議案 平成29年度収支予算および会費の徴収に関する件

第5号議案 規約改正に関する件

第6号議案 役員改選に関する件

#### 2) 記念講演 「卵黄膜強度に着目した卵の鮮度評価法」

京都女子大学家政学部食物栄養学科 教授 八田 一 氏

### (2) 役員会・正副会長会議

#### 1) 第1回正副会長会議

日 時：平成29年5月17日(水)

場 所：鳥羽国際ホテル

内 容：平成29年度総会提出議案について など

#### 2) 第1回理事会

日 時：平成29年6月8日(木)

場 所：A P 東京八重洲通り

内 容：理事体制について など

#### 3) 第2回正副会長会議

日 時：平成29年8月25日(金)

場 所：新宿農協会館

内 容：50周年記念式典について、9月セミナーについて など

#### 4) 第3回正副会長会議

日 時：平成29年11月14日(火)

場 所：J A L シティ田町

内 容：今後のスケジュールについて、顧問の設立について

#### 5) 第4回正副会長会議

日 時：平成30年2月7日(水)

場 所：A P 東京八重洲通り

内 容：平成30年度活動計画について など

### (3) 青年部活動

#### 1) 第1回青年部セミナー

日 時：平成29年4月5日(水)

場 所：主婦会館プラザエフ「コスモス」

参加者：46名

内 容：

講演「鶏の経済性能調査報告と能力を發揮させるために

育雛育成で心がけたいこと」

群馬県畜産試験場 後藤 美津夫 氏

育雛育成技術セミナー

「育雛育成技術の基礎」

鶏病研究会 理事 草間 保明 氏

「育雛育成技術の実際」

株式会社N. G. C 代表取締役 鈴木 康太郎 氏

意見交換会

#### 2) 青年部主催現地研修会

日 時：平成29年10月19～20日(木～金)

場 所：鹿島セントラルホテル「鳳凰」

昭和産業(株) 鹿島工場

参加者：34名

内 容：～配合飼料の基本を学ぶ～

座学研修

「飼料の基礎知識」

昭和産業株式会社 飼料畜産部飼料技術センター 浜本 慎平 氏

「原料の基礎知識」

昭和産業株式会社 飼料畜産部業務課 今井 基善 氏

見 学

昭和産業株式会社 鹿島工場

### (4) 情報活動

「全鶏FAXつうしん」 46回の発信

※希望者にPDFファイルをメールで送信した。

## (5) 研究・調査活動

### 1) 飼料価格実態調査 (計4回実施)

29年4月改定分、7月改定分、10月改定分、30年1月改定分

### 2) 卵の需給状況調査

29年4月～30年3月 (計12回実施)

### 3) 鶏種選択・ヒナ価格・廃鶏価格調査

平成29年12月実施

### 4) 労務対策アンケート調査

9月セミナーにおける労務対策セミナーの開催にあたり、人材の確保や労働契約内容等について、会員に対して事前にアンケートを実施した。

実施時期：平成29年7月～9月

回答数：43経営

### 5) たまごの味・香り調査分析

日時：平成29年12月～平成30年1月

分析申込数：23経営

## (6) セミナー・研究会等の開催

### 1) 6月セミナー

日時：平成29年6月8日(木)

場所：A P 東京八重洲通り

参加者：47名

内容：

#### ①飼料セミナー

「飼料主原料の最新動向」

兼松株式会社 穀物部主原料課 課長補佐 尾上 翔太 氏

「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役営業部長 高杉 庄太郎 氏

#### ②農林水産省との意見交換会

農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課鶏卵食鳥班

課長補佐 松田 正勝 氏

### 2) 共同見学会

日時：平成29年7月1日(土)

場所：有限会社鈴木養鶏場 (大分県日出町)

参加者：32名

内容：アニマルウェルフェア2階建て鶏舎、液卵施設、エサ配合工場見学、

## 意見交換

### 3) 9月セミナー

日 時：平成29年9月22日（金）

場 所：A P 浜松町「Aルーム」

参加者：45名

内 容：

飼料セミナー

「飼料価格の最新動向」

兼松株式会社 穀物課課長補佐 尾上 翔太 氏

「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役本部長 高杉 庄太郎 氏

鳥インフルエンザ対策セミナー

「鹿児島県出水地区における

高病原性鳥インフルエンザの防疫対策について」

マルイ農業協同組合 生産事業部部長 山内 祐樹 氏

労務対策セミナー

「今後の養鶏経営の労務対策について」

特定社会保険労務士 小林 透 氏

### 4) 12月セミナー

日 時：平成29年12月8日（金）

場 所：A P 新橋虎ノ門「Bルーム」

参加者：34名

内 容：

飼料セミナー

「飼料価格の最新動向」

兼松株式会社 穀物課課長補佐 尾上 翔太 氏

「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役本部長 高杉 庄太郎 氏

鳥インフルエンザ対策セミナー

「カメラセンサを利用した鶏舎への侵入動物の対策」

鳥取大学 共同獣医学科 教授 山口 剛士 氏

労務対策セミナー

「就業規則から学ぶ労務対策」

特定社会保険労務士 小林 透 氏

### 5) 全国農業経営者研究大会・養鶏分科会

日 時：平成30年2月7日(水)

場 所：A P 東京八重洲通り

参加者：30名

内 容：アニマルウェルフェアに配慮した養鶏経営

「アニマルウェルフェアの世界的な動き」

東海大学農学部 教授 伊藤 秀一 氏

「日本の養鶏産業におけるアニマルウェルフェアの対応

－農林水産省の取組み－」

農林水産省生産局畜産振興課 課長補佐 江上 智一 氏

「アニマルウェルフェアのシステムからの理解」

東西産業貿易株式会社 商品開発部 奥山 海平 氏

「アニマルウェルフェア鶏舎の導入について」

有限会社鈴木養鶏場 代表取締役社長 鈴木 智久 氏

#### 6) 3月セミナー

日 時：平成30年3月23日(金)

場 所：A P 浜松町「Aルーム」

参加者：43名

内 容：

飼料セミナー

「飼料価格の最新動向」

兼松株式会社 穀物課課長補佐 尾上 翔太 氏

「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役本部長 高杉 庄太郎 氏

税務対策セミナー

「事業承継をめぐる様々な経営問題について」

奥田経営コンサルティング事務所 中小企業診断士

奥田 剛史 氏

「養鶏事業における保険の活用」

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 企画開発部

大川 久敬 氏

#### (7) 全国養鶏経営者会議50周年記念式典

##### 1) 50周年記念式典実行委員会

第1回：平成29年9月22日(金)

第2回：平成29年10月25日(水)

##### 2) 50周年記念式典

日 時：平成29年11月14日（火）

場 所：JALシティ田町B1階「鳳凰」

参加者：104名

**（8）各種団体との検討会**

- 1）一般社団法人日本養鶏協会、鶏卵輸出準備分科会などとの各種打ち合わせ
- 2）株式会社ゼンケイとの意見交換、情報交換を開催